

清流の息吹を訪ねて ハゼの求愛ダンス

恋の行方はく

このコーナーは、市内山ノ内釣りに関するアドバンスなどを行う(株)フィッシュナビの代表で、「魚の専門家」の八鳥洋二さんからご寄稿いただいています。

前回の夏休み特別編では、多くのお便りを頂き、誠にありがとうございました。皆さまの声を聞けたことはとてもよい経験となり、多くのことを学ばせて頂きました。お便りの中で多かったハゼの話を少し補足したいと思います。

神戸川にもハゼの仲間が多く生息しており、中でもヨシノボリ、ボウズハゼ、チチブハゼの3種は、観察しやすいレギュラーメンバーです。

夏季はハゼの繁殖期。足繁く通えば求愛ダンスや産卵に備えた巣作り、卵を必死に守る親魚の様子など

が観察できます。見ていて気付いたのは、魚にも気性や気質があるということ。恋のアタックはそれぞれ個性でした!!左写真。

必ずしも成功するとは限らない求愛ダンス。一見面白おかしく見えても、オスの必死さと切なさと同じ男として共感する点が多々あり、皆さまからも同じお声を頂きました。

ちなみに求愛ダンスの撮影は、意外と簡単。目立つ色調の婚姻色のオスを見つけ、ただ追うだけ。メスを探したり、オス同士で喧嘩したり、やる気満々な姿を見せてくれます。



ヨシノボリ

(一方的に華やかさを見せるタイプ)



チチブハゼ

(相手を気遣いながら近寄るタイプ)



ボウズハゼ

(果敢かつ情熱的に攻めるタイプ)